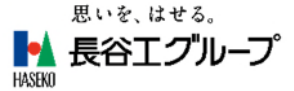


PRESS RELEASE



2025 年 8 月 5 日

**国産スギを利用した新たな木質建材「HSウッド」の自社工場の建設に着手
国内森林資源を効率的に活用し、社会課題解決への貢献を目指す
2028 年 4 月本格製造を開始予定、関西・東海圏のマンション施工で採用予定**

(株)長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、代表取締役社長：熊野 聡、以下「当社」）は、2025 年 8 月より奈良県五條市にて、国産スギを利用して安定品質を実現する新たな木質建材「HS ウッド（長谷工サステナブルウッド）」の製造を目的とした自社工場（以下「本工場」）の建設に着手しました。本工場は 2027 年 2 月に竣工し、製造設備のライン構築などを経て、2028 年 4 月本格製造の開始を予定しています。

これまで、内装工事のうち、造作大工が施工する内装の壁や天井の下地となる木製軸材（以下、造作軸材）には外国産木材を原料とした単板積層材（LVL）※¹を利用していました。今回、HS ウッドを自社製造し、造作軸材として利用することで、建築木材のトレーサビリティ確保や輸送などを含めたサプライチェーン全体の CO₂ 排出量削減が見込めるほか、国産材を使用することで炭素貯蔵効果を得られることなど、環境に配慮した企業活動に繋がっていきたいと考えています。HS ウッドは、主に関西・東海圏※²を対象として、当社が施工するマンションに採用する予定です。

当社は、2050 年カーボンニュートラルを目指した取り組みとして制定した長谷工グループ気候変動対応方針「HASEKO ZERO-Emission」※³に則り、国内森林資源をより環境貢献価値が高い手法で無駄なく活用し、社会課題解決に貢献してまいります。

※¹ 薄く切った木の単板（ベニヤ）を、繊維方向を揃えて積層・接着して強度を高めた木質材料

※² 関東圏は下地軸材として主に軽量鉄骨（角型スタッド）を使用して軽鉄工が施工

※³ <https://www.haseko.co.jp/hc/csr/environment/climate.html>



【工場棟・管理棟完成予想CG】

【「HSウッド」の特長】

HS ウッドは、スギ丸太から切削した木片（ストランド）の長さ方向を一方向に揃えて積層して構成するエンジニアードウッドで、節などの木材欠点の影響を受けない安定品質を実現します。

ストランドを原料とするため、製材や合板・単板積層材(LVL)用単板などへの利用が難しい小径木、曲がり材も利用でき、樹皮以外を無駄なく使用することが可能です※4。

※4 秋田県立大学木材高度加工研究所、北九州市立大学と共同研究。製品構成に関する特許出願中。



【切削した木片：ストランド】



【HSウッド】

【工事概要】

住所	奈良県五條市西阿田町 3 1 0 他
交通	電車／近畿日本鉄道 吉野線 下市口駅より車にて約 10 分 自動車／京奈和自動車道（国道）五條北 I C から約 7 分
敷地面積	41,670.62 ㎡
建築面積	工場棟 8,236 ㎡ 管理棟 333 ㎡
構造規模	工場棟 S 造 1 階 管理棟 木造 2 階
着工日	2025 年 8 月 1 日
竣工日	2027 年 2 月（予定）
本格製造開始	2028 年 4 月（予定）
設計	(株)キタムラ・(株)Style-A 監修：(株)長谷工コーポレーション 大阪エンジニアリング事業部
施工	(株)キタムラ